

データとエビデンスに基づく 実証的保健事業

デンソー健康保険組合
赤塚 俊昭
2012.12.6



1

2010年ビジョンの成果に基づき、 次の10年で取り組む基本方針と展開

1. 2010年ビジョンの取り組み事例

- ①生活習慣病予防を中心として健康づくり事業
の提案



国の施策「特定健診保健指導」に先立ち、
生活習慣病予防に取り組み、成果を上げ、
当初より国の目標を達成



2

2010年ビジョンの成果に基づき、 次の10年で取り組む基本方針と展開



1. 2010年ビジョンの取り組み事例

- ②科学的な根拠に基づいた健康づくり事業実施
のための継続的な評価



データに基づく予防を中心とした保健事業展開

- ・国の施策「レセプトオンライン化」に先立ち、
レセプトのデータ化を実現
- ・「レセプトオンライン化後の問題と課題」を国に
提言

3

2010年ビジョンの成果に基づき、 次の10年で取り組む基本方針と展開



2. 2020年ビジョン骨子

(1) ありたい姿(目標)

- ①事業業務の一層の向上、日本トップレベルを目指す
日本初 日本一プロジェクト推進
- ②組合員QOLの更なる向上を目指し、健康増進、
予防の推進、早期治療の促進の3進活動を全社
レベルで定着、風土化

4

2010年ビジョンの成果に基づき、 次の10年で取り組む基本方針と展開



2. 2020年ビジョン骨子

(1) ありたい姿(目標)

- ③生活習慣病、ガン、精神疾患、感染症、血液疾患等の重症化防止と高額医療費の飛躍的低減
- ④被扶養者の健康レベル向上と高齢者医療の適正化
- ⑤心身の健康は社会的健康が不可欠
社会的健康増進のあり方研究と実践

5

2010年ビジョンの成果に基づき、 次の10年で取り組む基本方針と展開



2. 2020年ビジョン骨子

(2) ビジョン達成に向けた展開方法

- ①会社方針に「健康経営」指標を経営指標として導入定着を図る
- ②更なるIT環境向上、情報提供、企画、業務処理、分析課題設定をデータとエビデンスで検証する仕組みの構築
- ③トヨタグループへのリーダーシップ
19健保 100万人のデータ統合

6

2010年ビジョンの成果に基づき、 次の10年で取り組む基本方針と展開



2. 2020年ビジョン骨子

(2)ビジョン達成に向けた展開方法

- ④健保連始め社外組織団体、行政への発言力、
影響力強化

- ⑤人材育成と業務のワンランクレベルアップと革新的
業務改善
(ex. 第三者行為業務廃止)

7

2010年ビジョンの成果に基づき、 次の10年で取り組む基本方針と展開



3. ビジョン達成に向けた展開の実現状況

- ①「健康経営」は日本トップレベルで進展中

- ②デンソー業務管理システムはベンダーの標準仕様
として実質的スタンダードとして展開中

- ③トヨタグループのデータ集計分析の事務局責任者
として各種施策方針を策定、行政への提言を実施中

8

2010年ビジョンの成果に基づき、 次の10年で取り組む基本方針と展開



3. ビジョン達成に向けた展開の実現状況

- ④ 健保連本部常務理事、支払基金理事、
健保連愛知会長、愛知県医師会NPO副理事として
医療行政全般に影響力行政レベル向上

9

2010年ビジョンの成果に基づき、 次の10年で取り組む基本方針と展開



3. ビジョン達成に向けた展開の実現状況

- ⑤ 日本一プロジェクトの展開
 - A. 医療費分析「10年間健診データとレセプトデータの
突合分析」
 - B. 医療費分析パートⅡとして「20年後医療費健診
データ」の分析実施
 - C. Accessベース分析手法の確立
 - D. 分析を活かした保健事業の展開
 - E. 喫煙に関する分析と禁煙支援事業
 - F. 歯科・医科 医療費相関分析

10

歯科・医科医療費の相関分析

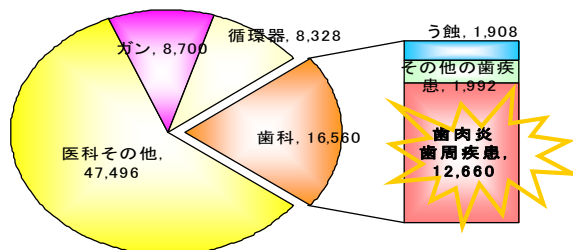
デンソー健康保険組合
2012.2.11

1. 歯周疾患と医療費の関係

(1) 総医療費に占める歯科医療費内訳

デンソー健保被保険者の一人当たり医科歯科医療費内訳(H20年度)

医科歯科医療費計=81,084円、n=71,811名

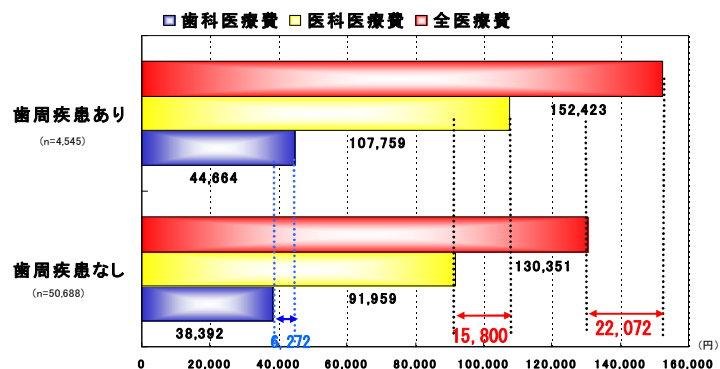


(単位:円)

歯周疾患の医療費は構成比1位(16%)
がんや循環器の医療費よりも高額!

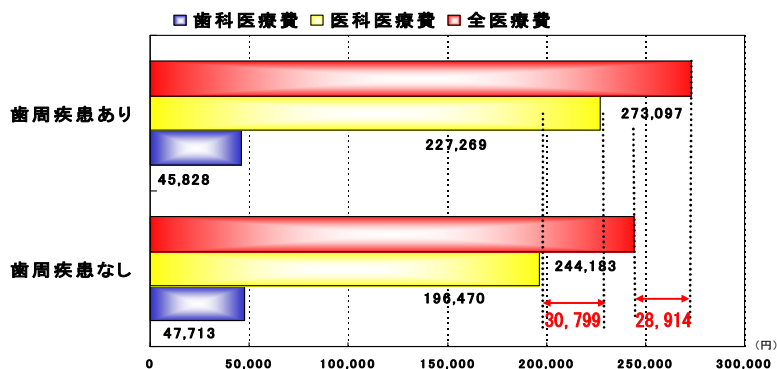
(2) 歯周疾患有無による年間医療費の差

対象: 全被保険者(55,233人)



歯科では+6,272円だが、医科で+15,800円、全医療費では+22,072円(+17%)

対象: 前頁データ中、60歳以上



60歳以上では医科医療費の差が約3万円、全世代平均の約2倍!!

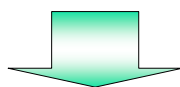
(3) 歯周疾患と糖尿病との関連の検証

日本歯科医師会 大久保会長のコメント

「歯周病にかかっていると、

糖尿病の血糖値コントロールに影響することが分かってきました」

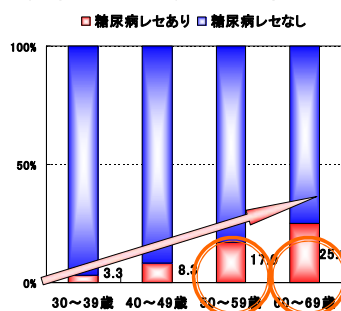
(週間社会保障2011.6.13号「この人に聞く」)



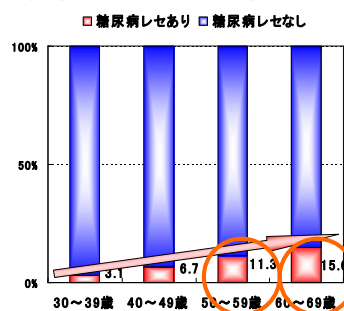
デンソー健保・被保険者のレセで検証し
今後の保健事業に反映する

検証結果：歯科受診内容別、糖尿病レセ受信者割合

① 歯周疾患レセがある方で
糖尿病レセのある方の割合



② 歯周疾患が**無い**歯科レセがある方で
糖尿病レセある方の割合

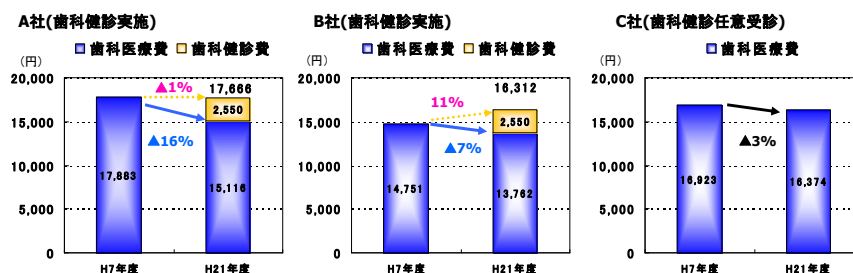


歯周疾患受診者の**糖尿病併発の割合**は、40歳代から高くなり
 ・60歳代では歯周疾患の受診者の**4人に1人**が糖尿病併発
 ・50歳代以上では歯周疾患ある人は、**無い人の1.5倍**

2. 歯科健診の費用対効果検証(15年の追跡分析)

(1) 歯科健診の歯科医療費への影響

従業員歯科健診実施、不実施事業所の年間被保険者歯科医療費推移



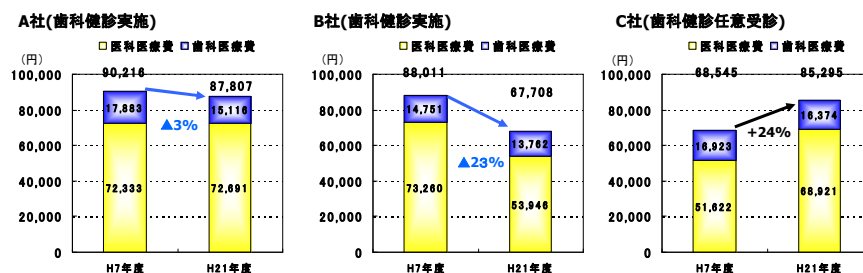
15年間で、歯科健診実施A社B社では、未実施C社に比べ歯科医療費が大幅に減少
歯科健診を加えた健保支出総額は増加か横ばい

効果Ⅰ：健保支出総額は増えても、歯科医療費が減少し、**歯のQOL向上**

H9年度から以降、A社B社とも従業員健診時に歯科健診も実施 健診費用は1人当り2,550円

(2) 歯科健診の医科医療費への影響

前項の事業所について年間医科歯科合計医療費の推移(歯科医科とも健診費は除く)



歯科健診実施事業所は年間医科歯科医療費が減少
一方、不実施事業所では医療費が**大幅に増加**

効果Ⅱ：定期的な歯科健診受診は体の健康維持(**体のQOL向上**)に寄与

3. 検証事項のまとめ

- ・被保険者の歯周疾患医療費の診療科目別構成比
構成比16%、ガンや循環器系医療費より高く、第一位
- ・歯周疾患と糖尿病併発の関連性
50歳代以降になると併発率が高くなる
- ・歯科健診の効果
継続的な受診で健康維持と医科医療費削減につながる

歯の健康維持は加入者のQOL維持向上と、
医療費全体の適正化に大きく貢献

4. 今後の歯科健診のありかた

従来: 効果確認が不十分で消極的取り組み

- ・子どものむし歯予防、歯磨き指導中心
- ・親は子どもの付き添いで「ついで受診」

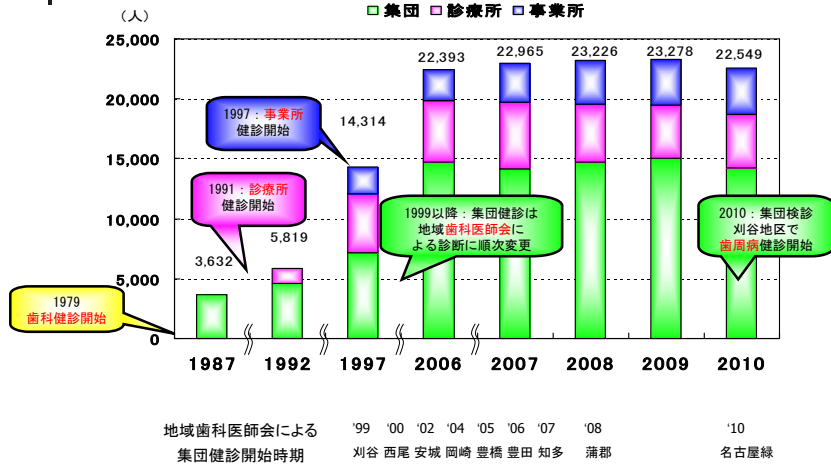


今後: QOL向上と医療費適正化の効果大きく

効果検証しながら積極的に推進

- ・大人世代向けの歯周疾患予防健診の導入と受診促進
→刈谷歯科医師会とH22より実施
- ・子ども向けは継続、若年世代の受診習慣づけ促進

<参考>デンソー健康保険組合での 歯科健診受診者数推移



<参考>健康保険組合の機能と役割

